

自己評価 R5 年度

1. 園の教育目標

本園が最も大切にしているのは、キリスト教の精神に基づいた心の教育、即ち 真 善 美 を尊び愛するという事です。幼児期が生涯にわたる人間形成の基礎を培う時期であることを認識の上に、子供の心に内面的な暖かさ、正しさ、美しさを植えつける教育に力をつくしたいと考えています。

幼児が現代の社会生活に適応し、幸せに生きる能力の基礎を身につけるに留まらず、将来隣人と共に生きる国際社会の形式に寄与する人間としての姿勢をも身につけ、環境を通して教育することに努めます。

2. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み内容	取り組み状況
安全	門の設置（補助金が下りなくても）	園舎の正門から不審者侵入を防ぐため、高さ 180 cm の門を新しく設置した。そして、日常的な出入りのためテラスに自動ロックの門及び解放警報・モニター付きの小さい門も設置した。
	園舎内安全チェック・屋外遊具安全チェック制度	毎月の始めに教職員はそれぞれの教育室と園庭の遊具などをチェック表に基づいて目で確認して記録を園長に提出した。
	防災バッグを置く場所を園の一階に確保	防災バッグを園舎裏の外に丈夫な物置の中に収めた。来年の課題として、バッグを出して園児に配る練習をする必要がある。
	裏のグラウンドとの連絡方法を工夫する	裏のグラウンドを利用する時のため、トランシーバーを購入して、グラウンドと事務所の連絡が取れるようになった。
	異年齢交流を図りながら、事故やおもちゃの取り合いを避けるよう学年別で両方のグラウンドを使い分ける	計画的ではなくても、臨機応変でグラウンドの使用を譲り合ったり、異年齢交流のため同じグラウンドで遊んだりしてきた。事故なしで、一年を過ごせた。
体力向上	園庭内マラソン実施回数を増やす	暑さが続く気候の時代になり、なかなかマラソンの回数を増やすことができない。対策として、暑い時期に短時間のマラソンを実施する。
運営 SDGs	LED	補助金を受けて、長時間にわたって使う事務所および職員室の蛍光灯を全部 LED に変えた。教室の場合、蛍光灯の器具が故障してしまう都度、修理せずに LED に変えてきた。
保護者と連携	保護者用の連絡のため HP 活用拡大	園だよりをはじめ、お知らせなどを HP のみにして、スマートホン用のレイアウトにした。園内の様子を伝えるため、学校専用の動画配布サービス「てのりの」を導入した。配布回数を増えることが来年度の課題にした。
	通信アプリを導入	E-メールの代わりに、スクリレという通信アプリを導入して、スムーズに案内等を発信することもできたし、保護者からの事務的な連絡のため活用できた。

研修	園内研修： 不適切な保育	チェックシートを利用して、それぞれの教諭の保育に不適切な要素の有無を再確認した。
職務分担	実施の検証	あまり実施できなかった。来年度の課題とする。
衛生	コロナ感染防止対策の見直し	新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受けて、行事の実施の対策（学年別実施、人数制限、室内実施中止、検温など）を緩和し、遠足及び年長のお泊り保育を再開した。日常的な園生活において、消毒（園児机、おもちゃ、手など）を食前に限るようにした。
給食	給食日を増やし、共働きの家庭の準備負担を減らす	火曜日も給食日にして、お弁当は金曜日だけになった。
	子どもたちの大好きなカレーライスをも月に一回提供する	給食業者と協議して、月に一回以上カレーライスを提供してもらった。

3. 園関係者の評価

自動ロックの門の安全を確認しました。

園だよりやお知らせなど、スクリレになり、とても便利になりました。

お弁当が週一回になり、カレーが増え、子どもたちも喜んでます。

以上を持って上記評価において間違いないことを確認いたしました。

2023 年度母の会